

# 佐田まちづくりいざよい

第131号



スマホでカラー版を見ることが出来ます

## 佐田交差点花壇

### ～女性部～

先月、佐田地区の玄関 佐田交差点に女性部の方々が色とりどりの花々を植付けてくれましたが、そこには以前、女性部の看板が立てられていました。

## 看板設置

しかし、老朽化のため撤去し、それからしばらく看板不在の状況でした。このままでは折角の女性部の活動を伝えることが出来ないことから、この度新たに看板を設置しました。

デザインと制作は公民館指導員の佐田くるみさんが担当してくれました。得意のちぎり絵でヒマワリを描いてくれました。出来上がった看板を六月三〇日、河野女性部長、江口副部長、花植等担当責任



佐田くるみさん力作



息ピッタリの大隈ご夫妻 ナイスコンビ

者岩男さん、山上さん、そのため撤去し、それかして且尾の大隈十、千栄子らしばらく看板不在の状況でした。このままでは折角の女性部の活動を伝えることが出来ないことから、この度新たに看板を設置しました。



Nice

## お礼

心温まるご寄付をいただきました。御厚志は有意義に活用させていただきます。

久井田地区 石和ひろ子様 故人宗高様

# スタッフ募集

「佐田地区まちづくり計画」に自立運営に向けた取り組みの一つとして佐田京石での軽トラ市の開催を挙げています。

ただトイレの活用のみで通過点となっている状態の佐田京石。

この駐車場を有効に活用できないか、そしてそのことで高齢者をはじめとする佐田地区民が元気で地区の活性化に繋がり、また、まちづくり協議会の自立運営への動機づけになれば。

そこで、プロジェクトチームを立ち上げ、実現に向けて動き出そうと思います。これまで、役員を中心にと役員の方に負担がかかっていましたが、今回は地区の皆様スタッフとして一緒に取組んで下さる方を募集したいと思います。

とにかく着手することに意義がある!!一緒にやろうと意欲のある方は佐田地区まちづくり協議会まで連絡ください。

☎44-0312事務局 河野まで

# 第一回役員会開催

六月三〇日令和三年度の第一回役員会を開催しました。



新しく役員になられた方で開催する初の役員会。

七月一七日の小規模集落応援隊等の草刈り、佐田京石、佐田交差点の草取り清掃、古紙回収の役割分担を決めました。

大年社から弘法の井戸までの道路の両端の草を刈り生活道としての確保と、観光資源の維持を図るものです。

小規模集落応援隊として登録されている小森建設、アジム測量の皆さんとの協

## 第23回佐田地区供養盆踊り中止 敬老会中止

働で行います。

また佐田京石、佐田交差点の草とり等の清掃、古紙回収も同時進行することでより沢山の参加者が必要となります。何度も同じ人が出るより、沢山の協力。

これこそが理想的な形。この号がお手元に届いたころには既に終わっています。来年も行いますので皆様の参加をお願いします。

そして、また非常に残念な結論を下すことになってしまいました。

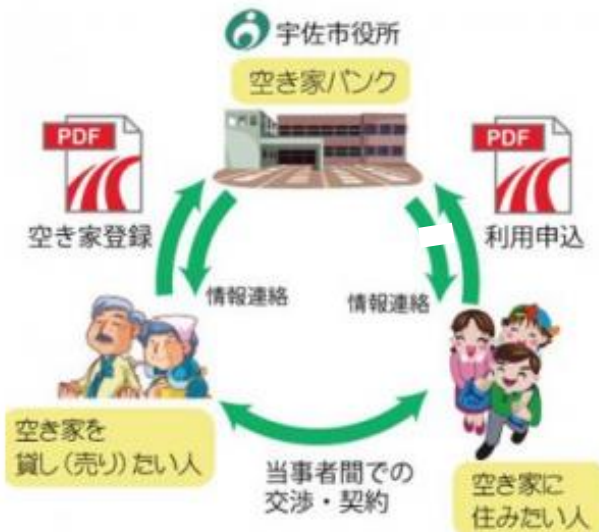
八月一四日開催予定だった供養盆踊り、九月開催予定だった敬老会をそれぞれコロナ感染拡大の予防の観点から中止とすることになりました。

開催を楽しみにしていた地区の皆様には大変残念なお知らせですが、コロナ禍の現状からの結論です。ご理解のほどよろしくお願ひします。

来年こそはコロナも終息し、開催できますように。

## 空き家バンクに登録しませんか

### 空き家バンク制度の流れ



- (1) 空き家等を賃貸または売却したい方が、空き家バンクに物件情報を登録します。
- (2) 市が調査等を行った後に物件情報を公開します。
- (3) 空き家に住みたい等方が、物件情報を確認（物件の内見を希望される場合は、「空き家情報利用申込書」を提出する必要があります。）。
- (4) 物件の確認後、利用希望者が所有者と交渉を行う場合は、「市区町村民税等の滞納のない証明書（16歳未満を除く世帯員全員）」提出し、当事者間で交渉を行います。
- (5) 交渉後、結果を市へ連絡します（契約を行う際は、トラブル防止のため、宅地建物取引業者に依頼することをお勧めします。）。

表面にも出てきました

「佐田地区まちづくり計画」その中に何も行動を起こさず現状のまま推移した場合の、佐田地区の人口と高齢化率についての記述があり、二〇四二年には四〇四名となる予想が出ています。

このままだと佐田地区が消滅？黙って指をくわえて傍観してはいられません。同計画内に若者定住対策を挙げています。

地区外への流出防止は勿論ですが、移住者の受入れも念頭に置き、積極的に取組んでいく必要があります。

他所から知らない人が来るのは不安。確かにそういった意見があります。

しかし、他地区では既に移住者の受け入れを積極的に行っています。未来の地区、将来ある子供たちのために。

その取り組みに空き家の活用が重要視されています。

放っておいても老朽化が進み危険物件に。それより活用することにしては。

詳しくはまちづくり推進課 ②八二七〇